



# ゆいいつの こたえを あじわう レムナント

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

スペインの画家ピカソは、世界がびっくりするほどの作品をたくさん残した人で、その中に「牡牛の頭」という作品があります。捨てた古い自転車のサドルをはずして、ハンドルを頭に付けて完成した作品です。この簡単な作品は、競売で30億円という驚くべき金額で落札されました。捨てた古い自転車がピカソの手によって想像を超える芸術的価値を持つようになったのです。レムナントは、ピカソとはくらべることができない創造主なる神様の御手で作られた神の子どもです。この世の中で唯一のたったひとり！として創造されました。ですから、レムナントの価値は、お金という世の中の基準ではかることはできません。

そのようなレムナントを通して神様がなさることがあります。唯一の答えを味わって伝えることです。これは、ただキリストが私の主人という事実を味わうときにできます。また、ただ神の国だけが私の背景ということを感じる時に可能です。そして、ただ神様だけが与えられる力、聖霊の満たしを味わうときにできます。この奥義を味わった初代教会は、現場を生かす唯一の答えを受けました。今日から唯一の答えを味わうように初代教会のように祈ってみましょう。神様の最高の関心と愛を受けて、この答えを受けて、地の果てまで証人になりましょう。

核心訓練メッセージ/2016.6.4

もくそうしよう

〇〇〇 定刻祈りに成功したらチェックしよう

3 Today

きょうのいのり

きょうのでんどう

きょうのみことば

アモス 4

一日一章

神様のみことばを読もう



「ただ」を味わうレムナントは表情がちがいます。神様がくださるまことの平安を味わうからです。神の子どもになって「ただ」を味わう人の顔を、絵にかいてみましょう。どんな表情なのか、よく考えましょう。



おいのり  
しよう

父なる神様！私がこの世界でたった一人の唯一の人だということを知らせてくださって、ありがとうございます。唯一の答えを味わって、神様の愛を伝えるレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



## おちこむことに かくされた しゅくふくが あります！

ピリピ4:6~7 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

3  
Today

きょうのいのり

Blank space for writing the prayer.

きょうのでんどう

Blank space for writing the devotion.

きょうのみことば

アモス 8

Small square box for a mark.

10月15日

神様のみことばを読もう

神の子どもは、落ち込むようなことがあるときは、どのようにしなければならないのでしょうか。世の人々は、そのようなことに会おうと、いろいろな方法で勝ち抜こうとします。ときには、あきらめて、がっかりしてしまったりもします。

しかし、神の子どもは、そのようなことの前でちがうようにすべきです。神様とともにおられるなら、落ち込むことにも隠された祝福があるからです。もしかして、レムナントのみんなに、なにかできごとが起こったのでしょうか。落ち込むことが起きたとすれば、私は神の子どもだという自分を思い出して、そのことに神様が隠しておられる計画を見つけるように祈ってみましょう。また、神様といっしょに問題を解いていくように祈りましょう。それでこそ、その中に隠された答えを見つけることができます。神様がその問題が起きることをゆるされた理由があるからです。神様がゆるされた問題の答えは、礼拝のときにくださる神様のみことばに入っています。これが、みことばに耳を傾けて、神様の御声を聞く方法です。そのとき、みことばの中から神様のみことばを見つけることに集中しましょう。もう落ち込むことや、問題の前で、不信仰になったり、あきらめたりせずに、神様がくださる答えに挑戦してみましょう。そのことによって、証人として神様が立ててくださるでしょう。

インマヌエル教会聖日1部/2016.6.5

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう



いま、私を落ち込ませている問題は、なにかを考えましょう。その問題を神様とともに解いていこうとするなら、どのようにしなければいけないのか、黙想して方法も書いてみましょう。

私を落ち込ませる問題

神様とともに  
解いていく方法

おいのり  
しよう

父なる神様！落ち込むことがあっても、隠されている祝福を発見させてくださるので、ありがとうございます。神の子どもとして、神様とともに問題を解いていくことができるように導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# げんかいを とびこえる あたらしい ちからを もとめよう

ヨエル 2:28-29 その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りは夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。

3 Today

きょうのいのり

レムナントのみんなが感じる限界は、どんなことがありますか。人はだれでも限界を持っています。弱い肉によって、不信仰がいっぱいな世の中で生きていて、絶えずサタンの攻撃を受けるからです。ところが、神の子どもは違います。神様が神の子どもにも限界を跳び越える力を与えると約束してくださいました。ですから、福音のなかで限界を跳び越える力を毎日新しく受けることができます。どのようにすれば、この力を受けられるのでしょうか。

神様は、みことばで「聖霊を注ぐ」という約束（ヨエル 2:28、使徒 1:8）をくださいました。ですから、与えられたみことばを握って、毎日、その力を求めながら祈れば、神様の力が私のもになります。それならば、毎日、この力を受ける時間を持った方が良いでしょう。どんな問題でも、祈り時間を定めて「聖霊に満たされること」を求めて祈りましょう。聖霊で満たされた霊的な状態を味わうなら、私が限界と感じる問題に働く暗やみの勢力が崩れます。前には難しく見えた問題も、やはり越えるようになります。神様の中にある未来と夢、ビジョンも見えます。そうすれば、そのことに挑戦する力と成就する答えがついてくるでしょう。そのように大きい答えが含まれている聖霊の満たしを味わう祈りを、いますぐ、はじめましょう！

インマヌエル教会聖日 2部/2016.6.5

もくそうしよう



定刻祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

オパデヤ1

一日一章

神様のみことばを読もう



きょうのみことばを読んで、「聖霊の満たし」について、わかりましたか。もういちど「聖霊の満たし」が出てくるみことばを黙想して、どんな祈りで味わうのか、神様に手紙を書いてみましょう。

To. かみさま



おいのり  
しよう

父なる神様！限界を越える聖霊の満たしを約束して下さって、ありがとうございます。いまから、聖霊の満たしを求め祈りの時間を持つことができますように。私に向かった神様の計画を見させてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# 「ただ」を しっている レムナント

使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

## 3 Today

きょうのいのり

レムナントのみんなは、「ただ」ということばを、たくさん聞いたでしょう。ただとは、他のことではかえることができないことを言います。世の中で、たったひとつだけということばでもあります。どこでも、ただということばをつけることができますが、世の中のすべての問題を解決する答えはただ一つ、イエス・キリストだけなのです。ところで、多くの人が、イエス・キリストという、ただを知りません。それゆえ、苦ししいことを体験したり、死ぬことを選んだりもします。反対に、イエス・キリストを知って、主人としてお迎えした人は、どんなことを経験しても勝利するようになります。なぜこのように違うのでしょうか。

イエス・キリストは、世の中のすべての問題を解決された方です。その方を知って、主人としてお迎えすれば身分が変わります。その御名には、特別に入っている奥義があるからです。最初に、その方は、まことの祭司です。神様を離れて受けるしかない呪い、災いを解決してくださいました。二つ目、まことの王です。目に見えないけれど、いつも私を困らせるサタンを完全に滅ぼされました。三つ目、まことの預言者です。私の力と努力では神様に会うことができません。しかし、神様に会う道を開いてくださいました。このように完ぺきなイエス・キリストがただであるなら、他とは違うようになるしかないでしょう。今日から、ただイエス・キリストを知って味わうレムナントになりましょう。神様がこのことの証人にしてくださいませるでしょう！

もくそうしよう

アフリカ伝道集会（タンザニヤ）1講/2016.05.24

定期祈りに成功したらチェックしよう

きょうのみことば

アモス 7

二百一章

神様のみことばを味わう

## めいろ

エデンの園に、神様の約束によって立てられた善悪を知る知識の木があります。木にあるめいろを通りながら、神様がいわれた解決策女の子孫、イエス・キリストをもう一度、考えてみましょう。



おいのり  
しよう

父なる神様！ただを知って、霊的問題を分別する証人になりますように。この世の災いを防ぐ、まことの夢の人にならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



# サタンの こうげきに かつ レムナント

ルカ 10:19~20 確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ權威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。だがしかし、悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。」

3 Today

神様のみことばとして書かれている聖書を見れば、終わりのときは苦しみの時代だと記録されています。福音を知らない人たちが、神様の愛を捨てて、自分で生きていくようになるからです。この背後には、サタンの働きがあります。福音を持ったレムナントは、サタンに勝つ身分を受けました。それゆえ、このアイデンティティを持って、終わりの時代を生かす霊的戦いを準備しなければなりません。

最初に、神様と通じる契約を握りましょう。サタンの權威を倒すイエス・キリストの福音です。福音を味わって伝えるレムナントの前に、サタンは必ず崩れます。二つ目、神様が願われる世界福音化をビジョンとして握って、実力を準備しましょう。そうすれば、私の技能が暗やみを倒すことに用いられます。三つ目、たましいを愛して生かしましょう。福音を伝えようと思う友だちのたましいを心に抱いて、祈りを始めれば良いのです。四つ目、神様と疎通する礼拝時間を持ちましょう。この時間に、神様のみことばを聞いて、解答と大きな力を受けましょう。みことばを覚えて、毎日みことばが成就するように神様と祈りで疎通しましょう。神様と通じれば、サタンに勝つ主人公になるでしょう！

アフリカ伝道集会（タンザニヤ）2講/2016.6.8

もくそうしよう

定刻祈りに成功したらチェックしよう

今日のみのことば

ヨナ1  
二一章  
神様のみことばを讀もう

絵を四角の枠で切り取って、つぎのページと表裏をはりあわせて使ってください



福音が必要な友だちに、実の木の伝道トラクトを渡しましょう



あなたになにか問題がある？

すべての問題には根があります

神様からはなれた  
神様からはなれて原罪におちいった  
サタンの奴隷として生きていくようになった

本来の人間は、神様とともにいてこそ幸せになるように造られました。ところが、人間はサタンにだまされて、神様のみことばに聞き従わなかったのです。それゆえ、人間は神様から離れる原罪を犯して、サタンにつかまって生きて行くようになりました。それが、聖書の創世記3章に書かれている根本問題です。私たちが人間は、根本問題を解決することができません。神様に会うことができないので、災いと運命の中で生きていきます。サタンが与える実によって生きて行くのです。

おいのりしよう

父なる神様！暗やみに勝つ神の子どもとして召して下さってありがとうございます。神様と疎通する時間を持つことができますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

絵を四角の枠で切り取って、扉のページと表裏をはりあわせて使ってください



おいのりしよう

父なる神様！サタンにだまされて、永遠の地獄に行かなければならなかった私を救ってくださって、ありがとうございます。神様のくださる契約をのがさないキリストの弟子になるように、導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## かみさまが くださった けいやく

創世記2:1~17 神である主は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」



神様がこの世を造られたとき、はじめての人アダムとエバを、エデンの園に導かれました。そして、そこを守るようにされました。そのとき、園の中央に善悪を知るようにする木を置いて「その木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ」と話をされました。このみことばは、単純な警告ではありませんでした。神様とともにいなければならないという重要な約束でした。サタンが、この事実をよく知っていました。人は、神様とともにいれば幸せになるということを知っていたのです。それで、策略を使って神様とともにいることができないように契約を破るようにさせました。善悪を知る知識の木の実を取って食べるように誘惑したのです。そのとき、永遠の死が人に来て、目に見える肉よりさらに重要な霊が死ぬようになりました。しかし、人をあまりにも愛された神様が、すぐに解決策をくださいました。創世記3章15節、女の子孫であるイエス・キリストに出会って、新しいいのちを得るようにされたのです。

人はだれでも誤った選択をすることがあります。はじめての人も同じでした。そのとき、救いの道を開いてくださったように、今でも神様に会うことを選ぶように、いつも導いてくださっています。この導きを受けるために、いつも神様がくださったみことばを黙想しましょう。サタンが私をだませないように、神様の約束を握って、神様とともにいる奥義を味わいましょう。今日も、この挑戦で勝利しましょう！

レムナント伝道学 82 講 / 2007. 04. 28

もくそうしよう

定刻祈りに成功したらチェックしよう

3 Today

きょうのいのり

きょうのでんどう

きょうのみことば

アモス 3

神様のみことばを読もう